

気難しい春グロ+aを求めてレッツゴー

まだまだイケる!!

クロ釣りファンの皆様、厳しい季節に入って来ました。今、クロは、産卵真っ只中であります。なかなか口を使ってくれない。口を使っても本喰いまで行かない。エサに見向きもしない等々、毎年、桜が咲き始める頃は、一年で最もクロが釣れない時期です。ただ全く釣

れないという訳ではありません。クロにも個体差があり、産卵に入っているクロ、産卵前のクロ、逆に産卵後のクロと、同じ時期に大きく分けて3タイプ居るのが、今の時期です。私は過去にこの3タイプのクロを同じ日に釣り上げたことがあります。産卵に入っている

南のつりアドバイザー 野間辰美

クロは、お尻から真子を出しながら上がってきたのを覚えてます。少しかわいそうでしたが、話を戻しますが、狙うクロは産卵前のクロがメインになるので、寒グロの延長だと思っています。ただ数は、そんなに多くは望めませんが、型は、小型から中型がメインで潮が良い時は、大型のサイズが出ると言います。また、忘れてならないのが、オナガクロです。春は口太グロが元気がない分、オナガグロは、春から夏場にかけて活発にエサを求めて浅タナまで喰い

上がってきます。潮通しのいい沖磯などに上がれたら、仕掛けをワンランク上げて狙ってみるのもいいです。また、春と言えば、忘れてならないのが、マダイ、イサキが産卵に備えて荒喰いをして栄養を蓄える時期です。これを狙わない手はないです。そこで今回は、春グロ+αでマダイ、イサキも考えてみようと思います。

《釣り場選び》

私は、クロ釣りをメインに考えて、ドン深な磯よりも浅場、沈み瀬が点在しているような磯を選択します。マダイ、イサキ狙いなら潮通しが良くて水深もそこそこある所がいいでしょう。要は、狙いの魚種を最初はしっかりと決めて釣り場、釣り座を選ぶようにします。大きな磯に仲間同士で乗る時は、ターゲットの魚によつて、潮動きのいい先端部は、マダイ、イサキ狙い、潮動きの悪い奥まった所は、クロ狙いと分けて釣ってみると面白いと思います。

《マキエサ》

一年で最も水温の低い春は、エサ盗りもそんなに考えなくていいです。もちろん居ないことは無いのですが、基本的な分離で行けます。(足元にエサ盗り用。本命は沖側という感じ。)私の1日分(約8時間)のマキエサは、オキアミの生3kgを2角、アミエビ1角を2角、ツケエサ用にオキアミ生3kgの半角もしくは1角。配合エサとして、マルキューのV9を1袋、グレの道、またはV10SPを1袋、超遠投グレを1袋、合計3袋はエサです。この



枕崎での配合例

必ず持つて行きます。これを2回に分けて作るようにします。配合エサの特徴としては、V9は、まとまりがあつて遠投もでき、海中では拡散して集魚力があります。グレの道、V10SPはマーカー的な役割で、先打ちマキエで、いつまでも投げたマキエサの位置が分かり、また、潮の流れる方向も一発で教えてくれる優れものです。超遠投グレは、名前の通りの遠投タイプであると同時に、マーカー的な役割と集魚力もあり、海中で拡散してくる超絶マキエサです。この



コナガちゃん! 小型のクロは、全部、飲み込まずに口ビルにハリ掛かりして来ます。

4種類は、オールシーズン使えるので私のオスメです。マダイ、イサキもこれで対応できます。

《仕掛け》

クロをメインに考えますが、産卵直前で水温が低い等々を考えると、そんなに上層まで浮いて来るとは考えにくいです。狙うポイントとしては、磯際、沈み瀬回り、海底付近等を丹念に探る釣りになると思います。また、エサ盗りの存在も考えてウキ止めを付けて、きっちりタナを測りながら釣るのが効果的です。私の場合、Bから3Bのウキをセレクトして沈めずに余浮力を少し残して、ウキを浮かして釣る方が、エサをどの深さで触ったか分かりやすいと思います。

とすぐに瀬に潜られてしまう恐れがあります。また、強引なやり取りが必要になるので、ラインは、極端に細くせずに、2号前後を使用して、傷が入っていないか、こまめにチェックするようにします。

ハリは、細軸よりも中軸ぐらいの小バリが、喰いやトラブルが少なくて済みます。細軸のハリは、強引なやり取りをすると、伸びや折れといったトラブルも心配です。竿は、道糸やハリスの号数に合わせるのが基本で、例えば、道糸・ハリスが1.75の時は、1.25から1.5号の竿がバランスがいいと思います。もっと分かり

やすく言えば、ラインの号数よりも0.5号前後低い号数の竿を使うと、バランスがいいと思います。後は、仕掛け図を参照して下さい。

《実釣・枕崎『黒瀬』》

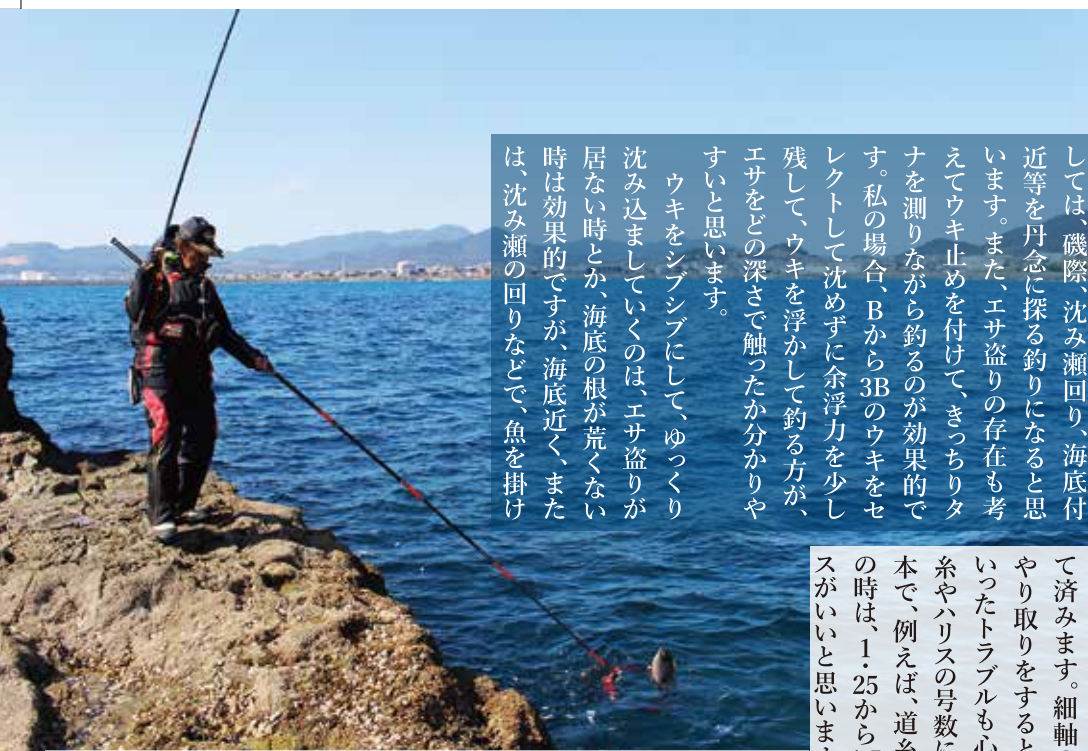
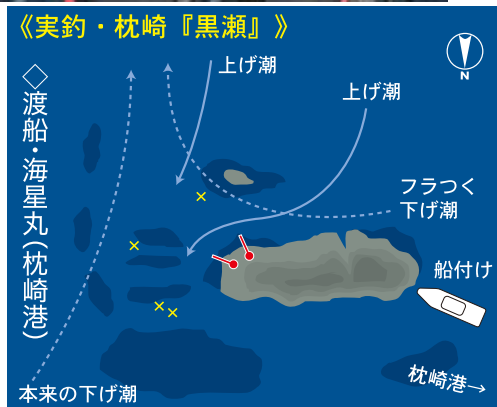
この日は、小潮回りだったので、午前中は上げ潮で、屋から下げ潮なのですが、上げ潮がゆっくりモタれて来るような潮で魚の活性が悪かったです。マキエサを撒いても、小魚のエサ盗りがたまに見える程度でツケエサがほとんど綺麗に残ってきます。困った結

果0のウキからBのウキに変えてタナを3ヒロから4ヒロ弱にして、沈み瀬の際を根掛かりするかしながぐらいで流して行くと、小型のクロが口ビルに掛かって来ます。この小型のクロは、全部、飲み込まずに口ビルにハリ掛かりして来ます。相当

喰いが悪いです。この場所は、本命潮は下げ潮なので、昼からの潮に懸けたのですが、当日は下げ潮が入らず一日中、上げのモタレ潮で完敗でした。ただ、バラシが4回ほどあり、正体は見えてませんが、ブダイ、フエフキのような強引な引きで、沈みで擦れてラインブレイク。これはこれで楽しかったです。



大きくなったらまた会おうネ!



ハリスはサンラインのVハード・ブラックストリーム・パワー・ストリームで決めます!!